

平成26年(家)第 号  
申述人様

平成 年 月 日  
〇〇家庭裁判所  
裁判所書記官 〇〇 〇〇  
電話 000(123)4567 (内線 )

## 照 会 書

このたび、当裁判所に対し、貴殿の名前で被相続人亡 〇〇〇〇 さんに関する相続放棄の申述がありました。

つきましては、貴殿の本当の意思を確認したいので、同封の回答書にご回答のうえ、署名押印して、平成〇年〇月〇日までに裁判所へ届くように返送してください。

ご不明な点がございましたら、担当までご連絡ください。よろしくお願いたします。

以上

- 注意
1. 相続放棄とは、被相続人（亡くなった人）の遺産及び債務を一切引き継がないこと、すなわち、相続人にならないということであって、あなたの分を他の相続する人（あなた以外の相続人で相続放棄をしない人）に贈与するというものではありません。
  2. 回答書はあなた自身で記入のうえ署名し、申し立ての際に使用した印鑑と同じもので押印してください。
  3. あなたがご自分で書けないときは代筆してもらうこともやむをえませんが、相続する人及びその配偶者には代筆してもらわないでください。  
代筆の場合は、代筆した理由、あなたと代筆者との関係及び代筆者の住所を余白に記入してもらい、代筆者に署名押印してもらってください。なお、代筆者から直接理由を確認させていただくこともあります。
  4. 書面が不足する場合は、便せん等適宜の用紙にお書きください。
  5. ご記入にあたっては、鉛筆以外のもの（ボールペン等）をご使用ください。

平成26年(家)第 号 相続放棄(被相続人〇〇〇〇)

回 答 書

照会事項につき、下記のとおり回答します。

平成 年 月 日

住所

電話(携帯)

申述人(署名)

印

【必ず申立書と同じ印鑑を使用してください】

1 あなたの名前で、当裁判所に相続放棄の申述手続がされていることを知っていますか。

知っている。

その手続きは  自分自身で署名、押印して提出した。

他の人(氏名 あなたとの関係 )に全て頼んだ。(自分自身で署名押印していない。)

知らない。

2 被相続人死亡から本件申述まで、被相続人の遺産をもらったり、誰かに渡したりしたことがありますか。

ない

ある

いつ( )何を( )

どうした( )

3 相続放棄の理由について、ご記入ください。

被相続人から生前に贈与を受けている。

生活が安定している。  遺産が少ない。

遺産を分散させたくない。  債務超過(借金が多い)のため。

その他

(具体的にお書きください )

4 被相続人の死亡の事実についてお答えください。

(1) あなたが被相続人の亡くなったことを知ったのはいつですか。

平成 年 月 日

(2) 誰から、どのようにして聞いたのですか。

親族（氏名・続柄 ）から（ ）で知った。

債権者から通知が届いた。

その他（ ）

(3) それまで、あなたが被相続人の亡くなったことを知らなかった事情を詳しく書いてください。

5 被相続人の死亡日から3ヶ月以内に相続放棄の申述をされなかった理由をご記入ください。

被相続人の死亡を知らなかった（上記4のとおり）。

相続する財産は全くないと思っていたので、手続きは必要ないと思っていた。

相続する財産があることを知ったのは、平成 年 月 日で、  
（ ）の知らせにより知った。

その他：年月日を含め具体的にお書きください

（ ）

※ 参考になる書類（手紙や債権者からの請求書など）があれば、コピーを添付してください。（申立時に提出済みであれば不要です。）

6 あなたは、真意に基づき相続の放棄をしますか。

する

その他（理由 ）

7 その他、参考になることがあればお書きください。